

とくしま推進財団憲章

急速な少子・高齢化、過疎化の進行など地域を取り巻く環境が厳しさを増す中、ICT（情報通信技術）は、わたしたちの暮らしの中に浸透し、なくてはならないものとなっています。

わたしたちの暮らしを、もっと豊かに、もっと便利に、そして生き活きと暮らせる社会を実現するためには、ICTを課題解決のツールとして、効果的・積極的に利活用することが必要です。

地域とともに歩み続ける団体として、産・学・民・官と協働し、これまで築き上げてきた蓄積を基に、新たな価値の創造に向けた事業の継続と展開を図り、誰一人取り残さない「人にやさしいデジタル社会」の実現と「ひと・まち・しごと」が活力あふれる地域を創造することを誓い、この憲章を制定します。

普及啓発

多種・多様な普及啓発を図り、ICTの利便性の理解を深め、ICTの利活用の促進に努めます。

- ・企業経営にICTをツールとして利活用するセミナーなどを開催するとともに、賛助会員等が開催するセミナーなどについても積極的に情報発信を行い、企業におけるICTの利活用の促進や企業・団体等の垣根を越えた交流機会の拡大に努めます。
- ・子供から高齢者まで、様々な年代や分野、地域の方々に対してセミナーや講座を開催するなど多種多様な機会の拡大に努めます。
- ・小・中学校等におけるプログラミング教育をはじめとするICTを活用した教育やキャリア教育など徳島の未来を担う人材育成の支援に努めます。

地域貢献

ICTを暮らしにつなげ、県民の暮らしとICTが一体化する多様な活動により、地域の活性化を図ります。

- ・小・中学校等にホームページシステム等を提供・支援し、家庭・地域との連携強化を図ります。
- ・ICTを活用した電子行政サービスの提供を支援し、住民サービスの向上と行政の効率化を図ります。

人材育成

ICT利活用社会をけん引する人材やそれを支える人材の育成に努めます。

- ・ICTを活用した地域貢献の取組に対する表彰制度や調査・研究に対する助成制度により、未来を切り拓く実践的なICT人材の育成に努めます。
- ・デジタル人材の育成を推進するとともに、育成した人材を活用し、教育現場や高齢者及び障がい者などを対象としたデジタルデバイド（情報格差）の解消、また、中山間地域をはじめとした地域の課題解決の支援に努めます。

事業展開

ICTの進展や社会の変化に柔軟に対応し、新たな事業を創出するとともに、「選択と集中」により、事業の継続・展開を図ります。また、徳島の未来を担う人材育成を支援し、地域の課題解決、地方創生に寄与するため、企業等と財団が保有している強みを最大限活用できる連携協定を進めます。

運営基盤

賛助会員の方々との結びつきを大切に保つとともに、新たな会員の獲得に努め、賛助会員を維持・拡大し、運営基盤の確立を図ります。